

今日は休日。
でも兄は大学に行つて
いないので、いつものように
兄の部屋でオナニーをする。

はあ
はあ

はあ
はあ

むわっ

しゅっ
しゅっ

しゅっ
しゅっ





「...お兄ちゃん...お兄ちゃんっ!」

はあ
はあ

はあ
はあ

「...いつも冷たくしてごめんね。
...バカとか...おまえとか...。
口の悪い妹でごめんなさい!」

「お兄ちゃんのこと大好きだから...!!。
気持ちこまかしきれなくなるのが怖くて、
わざと冷たくしちゃうの...!」

むわっ

しっ
しっ

しっ
しっ

「はあはあはあっ♡
お兄ちゃんの部屋でするオナニ
…すっごく気持ちいいよお♡」

「お兄ちゃんがいつも寝てるベッドの上で、
お兄ちゃんの匂いに包まれて…、
下半身丸出しにしてっ…!!」

わっ♡

はあ♡
はあ♡

はあ♡
はあ♡

「血のつながった妹の
背徳オナニ…っ!!」

「ちんシコとまんないっ…!!
金玉キュン死にしちゃうっ♡」



「お…兄ちゃ…ああん♥
お兄ちゃんっ♥
いっぱい射精する…からあっ♥」

「いっぱいチンポシコシコして
ビュッビュッ♥
マーキングするからあっ♥」
むわっ♥

はあ♥
はあ♥

はあ♥
はあ♥

「わたしのザーメンで臭くなつた
シートにくるまって毎日眠ってええ♥」

「…ただいまーっ。」

!?



「うおっ!!
み...みどりっ!!
お、おまえなに...して...っ!!」

「ばばば...ばかあつ!!
なにに勝手に入ってきてんの
よおっ!!」

わぁっ✓

「は、はあ!!
「...ここオレの部屋だぞっ!!」

はあ✓
はあ✓

はあ✓
はあ✓

「嘘嘘嘘おおおっ!!
オナニーに夢中でッ、
お兄ちゃんが帰ってきたことに
気がつかないかったあつ!!」

「(見られたっ...!!
わたしの求愛オナニー...っ!!
お兄ちゃんに...見られ...」

「ッッ?」





「のおおおおおっ!!
イグイグイグうううう♡♡♡♡」

わぁっ♡

はぁ♡
はぁ♡

はぁ♡
はぁ♡

「見られながらアクメ
ぎめるうううううう♡♡♡♡」

ビュッ♡
しゅっ♡
しゅっ♡
しゅっ♡

ビュッ♡
しゅっ♡
しゅっ♡
しゅっ♡

ちゅっ♡
すっ♡



「みみみ…見りゆなあつ♡
見ないでええっ♡
お兄ちゃんっ♡」

「妹のはしたない射精っ…!!!
見ちゃやだああああつ♡♡」

わぁっ♡

はぁ♡
はぁ♡

はぁ♡
はぁ♡

「お…おい、
み…みどり…」

「おおおんおおっ♡
チンポ気持ちいいいっ♡♡
シコシコとまらないひいっ♡♡」

ちんぽ
すき♡

